

令和3年度7月学校評価アンケートの際に保護者の皆様から貴重なご意見等をお寄せいただきました。生徒たちにとってよりよい学校になるよう努めてまいります。

<学習面>

○家庭での勉強のやり方を考えないまま一学期過ごしてしまい、しかも中間がなく期末テストだったため、範囲が広すぎて到底やり終われず、自分は勉強がわからないと投げやりな様子で少し心配しています。もちろん、授業や単元テスト宿題や自主学習など、先生方の話をちゃんと理解していれば、無理なくできたこととは思いますが、うちの子のように、家での勉強の習慣がまだできていない子には、例えば短いスパンで間違ったところは教科書を見て直しをすとか、漢字なら3回書くとか……。間違えて終わらない、テストの結果を悲観するだけで終わらせない勉強方法をおしりを叩いて身につけさせていただきたいです。

- ・学習の目的を「わからないことがわかるようになる」「できないことができるようになる」と捉え、教育活動を行っています。家庭での学習の取り組み方について、それぞれの教科からさまざまな方法を提示することで、自分に合った取り組み方を見つけられるように支援していきたいと思います。また、テスト後の見直し等では、内容が確実に身につくように、再チャレンジの場を設けています。

○テストの回数を減らしたことも、子どもにとって・・・とよく考えてほしい。目標やチャンスが多い方が、勉強の習慣もつきやすいのではと親としては思う。

- ・今年度、単元テストを各教科の授業内容、学習のまとまりが終了した際に行い、単元ごとに習熟具合を確認することに役立てています。単元テストにより、各教科のテスト回数は増え、教科の中でもそれぞれの単元の得意不得意も確認しやすくなったように感じます。期末テストだけでなく、単元テストを活用することで、更に生徒たちの学習習慣や意欲を伸ばしていきたいと考えています。

○今はコロナで部活も少ないので、宿題などもう少し増やしてほしい。

○中学生としては、家庭学習量が少ないように感じます。日々の宿題を課し、毎日の学習がしっかりとできるよう、ご指導いただけると嬉しいです。

- ・日々の課題（宿題）に関しては、それぞれの生徒にとって今必要とする内容は異なります。一律の宿題に時間を追われて、本当に必要な学習に向かうことができないことを避けたいと考えています。毎日の授業を通して、今自分にとってどんなことを学習したらよいのかを自ら考えて実践する「学びに向かう力」を養ってほしいと考えています。そのためにも、生徒が主体的に学習に臨むことができるように、生徒一人一人との対話等を通して、支援をしてまいります。

○朝の学習について、今まで行われていた朝読書を復活させてほしいです。

- ・3年生は卒業式が3月上旬に行われ、授業時数が他学年に比べ、限られています。そのため、朝の時間を活用して、基礎学力の定着を図り、同一教科授業への学びにつなげていきたいと考えています。なお、教科の担当教員が適宜各教室を回り、学習内容の質問に答えることができるように配慮しています。

○中間テストをもとにもどしてほしい。

○定期テストを2日→3日へ戻してください。

○学期内に、中間と期末の2回のテストを受ける機会を与えてほしいと思います。

○入学して初めての期末テストは、本人としてはかなり大変で、自分自身の実力がわかったようです。中間テストのようなものがあるとよいなと思いました。テストがあると本人は頑張れると言っています。

○期末テストだけでなく学期ごとで中間テストを行い、テストに対する計画性や挑む力、頑張ることの大切さ等を育て成長してほしいと思います。

○学期ごとに中間テストと期末テストがあった方が、それに向かって頑張ろうとするので、今まで通りのテストのやり方にしてほしいです。

- ・本年度より、中間テスト（昨年度は確認テスト）を設けていませんが、教科ごと学習のまとまりが終わる度に単元テストを実施しています。単元テストを行うことで、各教科のテスト回数は中間・期末テストの2回だけに比べると増えており、生徒たちにとって学習における到達具合を測る機会が増えます。また、それぞれの学習内容の得意不得意を確認しやすくなることで、子どもたちにとって、どこを重点的に伸ばしたり、改善したりしていくとよいか等の方向を定めやすくなると考えています。

○子供が勉強のやる気が出るような、声かけ等の環境づくりをお願いします。

- ・それぞれの教科において、生徒たちが興味関心をもって授業に取り組むことができるように日々心がけています。更に、教員も向上心をもって、生徒たちのやる気を引き出すような授業の進め方を工夫していきたいと思っています。

○授業はわかりやすく、楽しいと子どもから聞いているので教育面では特にありません。

- ・今後も、生徒たちが「わかる・できる」を実感し、主体的に臨むことのできるような授業を行ってきたいと思っています。

○家庭科で調理実習ができるとありがたい。

- ・特に技能教科については、現在のコロナ禍において実行可能な内容で授業に取り組んでいます。愛知県及び豊橋市の感染状況を鑑み、実施について検討していきます。

- 定期テストや受験に差ができてしまうため、五教科の教科担当を学年で同じにしてほしいです。
- 少人数で授業をする英語、数学は、先生の教え方によって差や違いが生まれてしまうので、そこを統一してほしいです。(少人数が悪いと言っている訳ではない)
- 少人数授業で、隣の席は1年間自分の出席番号の前後の人と座ることになります。隣の席の子が無難な性格なら毎回座ってもストレスなく授業に取り組めますが、そうでない場合、毎回ちょっかいを出され、授業に集中できず困っております。隣の席を決める方法を多様化にして、いろいろな人と座れるようにしていただくと助かります。そしてマンネリ化せず、授業に取り組めるのではないかと思います。
- ・教員によって、教え方に多少の違いが出てしまう部分もありますが、教えるべき内容は教科でそろえています。教員どうし常に話し合い、授業の進度や教授方法等を確認しています。今後も、教科内で擦り合わせを常に行っていきます。また、生徒たちが授業に集中して取り組むことができる環境を整えていきたいと思っております。授業では、話し合い活動も大切となり、特定の人の考えだけでなく、さまざまな人の意見を参考にできるように、改善を図っていきたくと思っております。

- 宿題について、漢字の反復はとてもよいことなので、ドリルだけではなく、他の教科の力も上がるような工夫があればよいと思っております。反復＝作業になりがちでもあるので、そうならない工夫も必要ですね。
- ・反復は記憶を定着させる上でもとても大切なことです。そのため、基本的には漢字ノートにドリルの内容を書いていきますが、例えば社会などの漢字で名称を書くものにおいても漢字ノートの宿題として活用可能です。国語に限らず本人にとって、覚える必要のある用語を練習することも行っていただけたらと思っております。なお、生徒たちには今自分に何が必要かを考え、主体的に学習内容を考え取り組んでほしいと願い、「全生徒に同一の宿題を課すことは最低限にとどめる」ことを教員間で共通認識しています。

- テスト（小テストも含む）の後の見直しなどに、もっと時間をつかってほしい。
- ・期末テストや単元テストの見直しなど、学習活動のふりかえりは学習内容の定着にとって有意義にはたります。これまで以上に、テスト後の見直しややり直し、解説等も丁寧に行っていきたくと思っております。

<生活面>

- 朝の登校時に大雨が降った時に心配になります。他の中学では、家の判断で少し遅らせて登校しても大丈夫で遅刻扱いにもならないと聞きました。
- ・本校でも自分の命を守る行動を最優先に考えるように生徒たちに伝えていきます。大雨などの理由で遅れて登校する判断をした際には「遅刻扱いにはなりません」ので安全最優先で登校してください。

○通学時、ヘルメットをかぶらずにいる1年生男子を数名見かけます。中学生になり、恰好を気にするお年頃だと思いますが、事故防止はもちろんですが、小中学生はヘルメット着用していると思い、周囲の人も気にして見守ってくれる場合もあるので、今一度、声かけをした方が安心かと思います。

- ・自転車通学者への指導は年度初めだけでなく、適宜行っています。しかしながら、指定通学路以外での登校、ヘルメットの非着用、二人乗りなどの問題が起こっています。生徒たちに自分の命は自分で守るという意識が浸透するまで、くり返し指導を重ねてまいります。

○「小学校に行っていた時よりずっと楽しい」と本人が言っています。明るい先生に担任して頂き感謝です。あまり家では話をしてくれませんが、楽しいのがイチバンだと思います。今後もよろしくお願い致します。

- ・これからも一人一人に寄り添い、楽しく学校に来られる環境づくりをすすめていきます。

○毎日楽しく学校へ行っているので安心。担任の先生の指導にすごく感謝です。

- ・保護者の皆様との連携を更に深め、手を取り合って生徒たちを育てていきたいと思っています。

○スマホの普及による人間関係などに注意できるとよいと思います。(学校と保護者間)

- ・スマホのトラブルについては、ネットモラル教育を通じてこれからも行っていきます。ご家庭でもスマホの使用方法などの約束ごとをつくったり、適宜確認したりするなど、トラブルの未然防止に努めていただけるとありがたいです。

<行事>

○コロナでいろいろな行事がなくなってしまうたり、生活の中でも制限される場面が多いので、できるだけ学校のイベント、行事は思いっきりやらせてあげたいと思っている。

- ・最新の感染状況を踏まえながら、生徒の安全・安心を確保し、可能な範囲で最大限の活動ができるようにします。

○先生たちが多忙ということは否定しないが、何かをカットするときに、子どもにとってどうか？なくしてもよいことかとよく考え判断してほしい。多忙を改善するために子どもたちの視点に立つということを忘れないでほしい。保護者も子どもたちの視点に立ったものには協力をしていきます。

- ・生徒の安全・安心を確保するため、新型コロナ対策を十分講じた上で諸活動を行っております。生徒が力いっぱい活躍できるよう、今後もその都度最適解を求めながら活動していきます。

<部活動>

○テニス部の練習を増やして、強いチーム作りをしてほしいと思います。部活の中で、挨拶の大切さや頑張る力、仲間への思いやり等を育ててほしいです。

- ・部活動の中では、挨拶の大切さ、最後まで諦めずに取り組む姿勢、仲間との協力・助け合い等、プレー面以外の成長も養っていきます。練習量に関しては、どの部も生徒の身体的な負担や職員の業務との兼ね合いなどを考慮し、可能な限り取り組むことができるように努力してまいります。なお、学校トレーナー（理学療法士）の指導・助言を日々の活動に役立てていきます。

○部活動の種類が少ない。

- ・教員の数などの関係上、活動可能な部活動数は限られてしまいますので、ご理解ください。

○新チームのキャプテンを引退した3年生と先生だけで決めるのはよくない。これからやっていく2年生と1年生の意見も聞いてから決めないと、本人たちのやる気もかわってしまいます。3年生、先生の意見もちろん大切ですが、3年生と先生で決めたキャプテンとでは、この1年の活動に影響が出てしまいます。今後の活動に期待しています。

- ・部活動を経営するうえで、キャプテンの存在は大きいものであると認識しています。新チームのキャプテンは、チーム状況を客観的に判断して各部で決めていきます。3年生と部活動顧問で話し合いを重ねて決めている部があります。また、どの部でも新チームがより成長していけることを考えてキャプテンを決めています。

○部活の予定やメールなど、ぎりぎりではなく、早めに知りたいです。（可能であれば）

- ・翌月の予定に関しては、前月の20日までにはメールでお知らせできるようにしていきます。

<進路について>

○高校進学に関して、1年生のうち各高校の部活、立地、制服など興味のもてる内容で紹介するなど、家庭で話題にできるきっかけを作っていただけるとありがたいです。

学力や偏差値だけの情報だと高校を「行きたい学校」というより、「行ける学校」で判断するようになってしまいそう（親子共）なので。「行きたい学校」を見つけることで、努力（勉強）することの行き先が定まり、頑張れると思います。すでに実施されている内容でしたらすみません。

- ・1年生では、「進路への関心」をテーマに主に学級活動の時間に自己の特性を知ったり将来の生き方について考えたりしていきます。「自分の生き方を考えていく」その延長線上に「高校進学もある」という考えにつながるよう、系統的に指導します。

○目標となる高校の種類や特色など，子どもが理解できる機会があると助かります。

- ・1・2年生での進路説明会では，学科の特色についてガイダンスを行っていきます。また，2年生では「上級学校調べ」の学習を通して進学先の特色について学習します。

○コロナ禍で大変だとは思いますが，職業体験やキャリア教育をしっかりとってほしい。キャリア教育の前段階として高校受験の捉え方も子どもたちに伝えてほしい。成績も大事だが，成績よりも本人の特性等により，志望校を決める材料を提示してほしい。

- ・学校としても，進路指導が出口指導・進学指導ではなく「生き方指導」につながるように教育課程に基づいて適切に行っていきます。生徒一人一人としっかり話をし，本人の思いを大切にしながら時間をかけて一緒に志望校を考えていきます。

<その他>

○複雑な家庭などの対応は専門家へ。教員（専門職）以外が行える事務は事務の専門の方を増員，部活動は先生とその技術の専門家，時には保護者も巻き込んで積極的に行い，中学生というバランスのとりにくい時期の心身のバランスがとれるようにしてほしい。テニス部で日曜日にクラブが行われているがそのようなシステムがほかでも可能になると望ましいと思う。学校は場所の提供，運営は主は保護者。

○クラス，学年を超えて活動できる時間を増やす。英語やプログラミングの講座を自由に受講できるような課外活動。地域性を活かした特別授業，校外見学，講座など。

- ・これからもココエールや教育相談など，外部機関との連携を積極的に行ってまいります。クラブチームや部活動の外部コーチの導入などは，一部の部活動で実施しています。地域の皆様との協働で，将来を担う子どもたちを育ててまいりたいと思います。

○豊城中は不登校の子が多いと感じる。また，月曜の部活がなくなってから，目的もなく集団で，自転車でフラフラしている子をよく見かけるようになったと感じる。愛知県の子どもの体力も全国下位である。体力も余り，よいエネルギーを使う場所・目標がなかなかみつけにくくなっているように感じる。

- ・これからも授業や部活動などで，生徒が自らやりがいを見つけたり，自ら成長したりすることのできる環境づくりにまい進してまいります。全教育活動を通して，自ら考え，判断し，行動することのできる生徒の育成に取り組んでいます。

○先生たちが専門職の仕事（子どもにとって、子どもたちをよい方向へ導く仕事）がスムーズにできるように管理職は考えてほしい。

- ・これからも、ゆとりをもって生徒とふれあうことができるようにするなど、教員が教育活動に専念できるような職場環境づくりに努めます。

○自分の思いを言葉にして伝えることが苦手な子どもですが、授業・部活動・HR等で先生方や先輩方がお声かけして下さることを家で嬉しそうに話してくれます。学校生活での活力になっているようで私も嬉しいです。思春期を迎え、悩みも増えてきました。生活・学習ともに孤立してしまわないように、温かく見守っていただけると幸いです。

- ・学級数の少ない学校の特性を生かして、全職員で全生徒を見守る体制を維持増進してまいります。行事や部活動で、他学年と交流できる機会もつくっていきたいと考えています。

○中学校は楽しい！！と登校していきますので、今のところ、心配していることはありません。勉強の中にも、楽しい行事も取り入れて、充実した学校生活にしていただければありがたいです。

- ・一時一笑（一時間の授業の中で一回は笑顔になれる場面をつくる）を教員の合言葉にするなど、授業力向上に努めていきます。

○牛乳や飲料水の種類や量、睡眠時間など生活習慣に関わることは、生徒だけに講習されると、家庭の考え方を一方的に否定され、話し合いができません。プリントなどを配り、各家庭で考える機会を与えてください。

- ・学校で行われた講演内容などを、学年通信等でご家庭に伝えていきたいと思えます。また、生徒には、受講内容について、家庭で話し合いの機会をつくることの大切さを伝えていきます。

○学年委員など、役員を決めるとき、名簿順の上、下、真ん中は選ばないようにと、他の中学校は予めプリントに記入してあります。（だいたい、上、下、真ん中の方が選ばれていることが多いです。）ご配慮いただくとありがたいです。

- ・役員決め時の注意事項として、プリントに明記します。

○現在在校生は、通年より思いやりに欠けることが多く感じます。個性の尊重や他人への理解を養ってほしい。

- ・全職員で、道徳の授業だけでなく、学校生活のさまざまな場面で他者への理解や思いやりを高められるような言葉がけをしていきます。「よい行いをするために思いやりの心をもつことが大切である」と、生徒には行動することの大切さを伝えていきます。

○定期的にメール配信をしてほしい。

○学年通信をメールで配信していただけるのが非常に便利だなと感じています。他のお便りについても、同様にしてペーパーレスにつなげてほしいかもしれません。回答、返答が必要なものは、メールでの返答ができるようになるのも便利かもしれません。いつもありがとうございます。

- ・メール配信は、ご家庭と学校をつなぐ有益なツールと考えています。適宜情報を発信してまいります。更に便利な情報共有に向けて、ご意見等をいただければ幸いです。

○担任の先生はじめ先生方には、子どもに気をかけ、様々な対応をしていただき感謝しております。

- ・全職員で全生徒へのこまやかな支援ができるように努めていきます。

○コロナ禍で、さまざまな制限がある中で、子ども達がよりよい学校生活を送ることができるよう、ご尽力いただいている先生方には感謝しております。二度と戻らない学校生活ですので、できるだけたくさん経験ができますよう、今後ともよろしく願います。

- ・「コロナ禍だから実施できない」ではなく、「コロナ禍でも実施できる方法はないか」を常に考えています。このような状況下でも生徒が思い切り活動できるように、知恵を出し合いたいと思います。

○先生方がとてもフレンドリーで、先生と生徒の関係がとてもよいと感じます。何でも話せる、何でも相談できる雰囲気をつくってもらい、引き続き思春期で難しい子供たちのフォローをお願いします。先生方のおかげで3年生の雰囲気がとてもよく、授業参観も楽しく参観させて頂いています。本当にありがとうございます。

- ・今後も、生徒たちがよりよく成長できるように、「チーム豊城」で支援していきます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくご相談ください。

たくさんのご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました。

これからも、ご支援、ご協力をお願いいたします。